

令和7年度 健康づくりにおける活動（青森県健康増進推進会議）

団体名	青森県立保健大学
事業名	第2期プロジェクト型研究
事業内容	地域の健康課題を解決するために、様々な連携の下で、様々な専門性を有する研究者・専門職等が協力しながら、研究プロジェクトを実施します。若手研究者や大学院生の育成と社会実装・地域還元を重視した活動を目指します。 令和5年5月下旬に審査があり1件が採択され、研究実施中。
連携している団体	特になし

団体名	青森県立保健大学
事業名	ヘルスプロモーション戦略研究
事業内容	ヘルスプロモーション戦略研究とは、青森県立保健大学の教員が行う研究で、社会における保健、医療及び福祉分野の向上（ヘルスプロモーション）に資する課題についての単独または複数の研究者による研究です。令和7年度は、別紙「R07学内研究費採択課題一覧」にある8件の課題が採択され、研究が進められています。 令和7年4月に審査、研究開始は5月中旬。
連携している団体	特になし

団体名	青森県立保健大学
事業名	若手・大学院生奨励研究
事業内容	若手・大学院生奨励研究とは、青森県立保健大学の若手研究者（助教、助手又は実験実習助手）及び大学院生が1人若しくは、複数で行う研究で、将来的な発展が期待できる優れた着想をもつ研究で、分野に関わらず、本学の教育・研究の資質向上、地域との連携や課題解決など社会に広く貢献・還元しうる研究です。 令和7年度は、別紙「R07学内研究費採択課題一覧」にある23件の課題が採択され、研究が進められています。 令和7年4月に審査、研究開始は5月中旬。
連携している団体	特になし

団体名	青森県立保健大学
事業名	ヘルスプロモーション実践活動
事業内容	<p>ヘルスプロモーション実践活動とは、青森県立保健大学の教職員または大学院生が行う実践活動で、「ヘルスプロモーション」を地域社会において展開することを目的とし、教育的配慮の下に学部学生が積極的に参画することが望まれる活動です。</p> <p>令和7年度は、別紙「R07学内研究費採択課題一覧」にある5件の課題が採択され、活動が進められています。</p> <p>令和7年4月に審査、活動開始は5月中旬。</p>
連携している団体	特になし

団体名	青森県立保健大学
事業名	学科横断科目
事業内容	<p>【中期計画】</p> <p>主に「統合的実践力」を育成するために、地域課題であるヘルスリテラシーの向上を核とし、多職種と協働できる実践力を育成するために、4学科混合でのディスカッションを主体とした実践教育を行う。</p> <p>・学科横断科目（R7より施行された新カリキュラムにおいて「健康科学部共通科目」から名称変更）学部共通科目運営部会を随時開催し、同科目の準備や運営の状況を相互確認するとともに、「統合的実践力」を育成できる教育内容・方法となっているかを見直し、必要な場合に改善を図る。</p> <p>学部共通科目の教育効果を評価するための学生アンケートを実施し、その分析結果を学部共通科目の改善に活用する。</p>
連携している団体	特になし

団体名	青森県立保健大学
事業名	大学院生の教育と研究推進（博士前期課程）
事業内容	<p>【中期計画】 健康科学研究に関わる基盤的知識、研究創造力、研究倫理を高める教育を行う。また、地域の健康課題の解決に資する科目の開講などにより、地域特性を踏まえた保健、医療及び福祉における健康課題の解決に資する高度な研究能力及び実践能力の向上を目指した教育を行う。 学術集会や研究会等での研究成果の発表を推進する。また、健康課題の解決に繋がる具体的成果や知的財産等の地域社会への還元を推進する。</p> <p>【年度計画】 ○基盤科目の充実と地域の健康課題の解決に資する教育の充実・改善 基盤科目において公衆衛生学をはじめとする健康科学研究に関わる高度な見識を育成するための基盤となる科目を引き続き充実させる。 大学院生の研究倫理をより高めるために、研究センターと協力して「研究倫理教育の基本方針」に沿って研究倫理の意義などを周知するとともに、研究倫理eラーニングの受講を継続的に促す。 教育・研究の質の保証を確保する一環として、各学位課程（CNSコースを含む）のディプロマ・ポリシーに基づき、学修到達度の目標や到達度の基準・評価方法等を明確にする。 令和8年度から新たに始まるカリキュラムのために、令和6年度に研究科委員会内で立ち上げた大学院教育研究質保証専門部会を継続開催し、新カリキュラムの最終案を作成し、関係諸機関に届出等を行う。 教員が研究指導を担当する大学院生の学修や研究状況を把握し、助言等をできるように明文化した「研究指導計画書（授業・研究指導ポートフォリオ）」の活用を推進し、必要に応じて評価・改善等を行う。教育や研究指導体制を強化・充実するために、厳正な審査を通して論文指導担当教員を増員する。また、現在の審査基準について、必要に応じて見直しを行う。 ○研究発表及び学内研究費助成制度への応募の促進 ガイダンスや研究発表会等で研究プロセス並びに学会発表・論文発表の意義付けを継続的にを行い、学術学会・集会等での研究成果の積極的な発表を促進する。 大学院生や若手の研究者に対して研究アイデアや研究成果の創出を支援するために、大学院と図書館、研究センターとが共催して研究談話会や研修会等を開催する。大学院生の個々の研究内容を充実・深化させ、研究成果の発表・投稿をサポートするために、大学院生に対して学内の研究費助成制度や論文発表推進特別支援助成金への積極的な応募を促す。 ○研究成果の地域社会への還元 ガイダンスや特別研究の発表会等で社会に役立つ研究成果の意義を強調し、地域社会等への具体的成果の還元を継続的に推進する。 ○ヘルスプロモーション戦略研究センターの研究・調査との連携の促進 研究センターが募集する「プロジェクト型研究」をはじめとする研究調査関連事業への大学院生の研究連携を引き続き、推進する。大学院生に対して研究センターが主催する研究セミナー、科研費講習会等への参加を継続的に推進する。また、青森県保健医療福祉研究発表会への参加・発表及び各種雑誌への投稿を強く促す。研究・調査等に参加した大学院生へのアンケート調査等を実施し、参加状況に関する課題を明確にする。</p>
連携している団体	

団体名	青森県立保健大学
事業名	大学院生の教育と研究推進（博士後期課程）
事業内容	<p>【中期計画】  学際的な視点から研究を推し進めるための基盤的知識、研究創造力、研究倫理を高める教育を行う。また、地域の健康課題の解決に資する科目を開講し、地域特性を踏まえた保健、医療及び福祉における高度な研究及び人材育成能力の向上を目指した教育を行う。  学術集会や研究会等での研究成果の発表を推進する。さらに、独創性のある研究論文の作成及び公表を推進する。また、健康課題の解決に繋がる具体的成果や知的財産等の地域社会への還元を推進する。</p> <p>【年度計画】  ○ 学際的視点からの地域の健康課題の解決に資する教育の充実・改善  大学院特別講義等を充実させ、地域の健康課題の解決に資する教育や研究を通じて、人材育成を継続的に推進する。大学院生の研究倫理をより高めるために、研究センターと協力して「研究倫理教育の基本方針」に沿って研究倫理の意義などを周知するとともに、研究倫理eラーニングの受講を継続的に促す。  教育・研究の質の保証を確保する一環として、学位課程のディプロマ・ポリシーに基づく、学修到達度の目標や到達度の基準・評価方法等を明確にする（小項目No.19再掲）。令和8年度から新たに始まるカリキュラムのために、令和6年度に研究科委員会内で立ち上げた大学院教育研究質保証専門部会を継続開催し、新カリキュラムの最終案を作成し、関係諸機関に届出等を行う。  教員が研究指導を担当する大学院生の学修や研究状況を把握し、助言等をできるように明文化した「研究指導計画書（授業・研究指導ポートフォリオ）」の活用を推進し、必要に応じて評価・改善等を行う。  教育や研究指導体制を強化・充実するために、厳正な審査を通して論文指導担当教員を増員する。また、現在の審査基準について、必要に応じて見直しを行う。  研究能力の向上のために、大学院生の研究セミナー・研修会等の情報提供及びそれらへの参加を促す。また、大学院生に対して、ブレFD研修として大学教員向けのFD研修会等への参加を促す。</p> ○ 研究発表、学術雑誌への投稿並びに学内研究費助成制度への応募の促進 ガイダンスや研究発表会等で研究のプロセス並びに学会発表・論文発表の意義付けを継続的に行い、学術学会・集会等での研究成果の発表を引き続き推進する。 大学院生や若手の研究者に対して研究アイデアや成果の創出を支援するために、大学院と図書館あるいは研究センターが共催して、研究談話会や研修会等を開催する。 大学院生の個々の研究内容を充実・深化させ、研究成果の発表・投稿をサポートするために、大学院生に対して学内の研究費助成制度や論文発表推進特別支援助成金への積極的な応募を促す。 ○ 研究成果の地域社会への還元 ガイダンスや特別研究の発表会等で社会に役立つ研究成果の意義を強調し、地域社会等への具体的成果の還元を継続的に推進する。 ○ ヘルスプロモーション戦略研究センターの研究・調査との連携の促進 研究センターが、企画した「プロジェクト型研究」をはじめ、研究調査関連事業への大学院生の研究参加・連携を継続的に推進する。 大学院生に対して研究センターが主催する研究セミナーや科研費講習会等への参加を継続的に推進する。また、青森県保健医療福祉研究発表会への参加・発表及び各種雑誌への投稿を強く促す（
連携している団体	

団体名	青森県立保健大学
事業名	青森県立保健大学と団体との地域連携事業
事業内容	<p>本学における教育や教職員の専門的知識や技術を活かし、大学を拠点とした地域活動について、大学の教育や研究と連動したWin-Winの活動に発展するように地域住民・地域団体との協働を進める。</p> <p>&lt;令和7年度連携団体&gt;あおもり杖なし会、子育て応援ルームココかれっじ（本学を拠点とした地域住民活動）</p> <p>上記事業内容に合致した事業や、地域の健やか力向上に積極的に取り組む機関・団体と連携する。</p>
連携している団体	あおもり杖なし会、子育て応援ルームココかれっじ

団体名	青森県立保健大学
事業名	多職種連携スキルアップセミナー
事業内容	<p>地域で働く保健医療福祉職が、人々の健康の増進を図るために必要な科学的知識や技術、態度を獲得でき、専門職としてキャリアアップできるよう支援を行うため、令和6年度の「地域包括ケア・フォーラムin青森2024」から名称を変更し「多職種連携スキルアップセミナー」を開催（令和7年12月11日開催予定）する。</p>
連携している団体	特になし

団体名	青森県立保健大学
事業名	令和7年度公開講座
事業内容	<p>青森県立保健大学では、地域の皆様にとっての身近な学びの拠点として、ヘルスリテラシー（自分にあった健康情報を探して、わかって（理解し、評価した上で）、使える力）の向上や豊かな暮らしにつながるテーマを選定し、公開講座を開催しています。</p> <p>令和7年度は、「研究と実践～ヘルスリテラシーの向上を目指して～」をテーマに、全3回の日程で実施します。</p> <p>第1回 10月 4日（土）「健康知識を活用する」  第2回 10月25日（土）「予防とリハビリテーション」  第3回 11月 8日（土）「食生活と健康」</p>
連携している団体	なし

団体名	青森県立保健大学
事業名	2025年度青森県保健医療福祉研究発表会・日本 ヒューマンケア科学学会 第18回学術集会合同集会
事業内容	<p>i 実施時期 令和7年12月20日（土）  ii 実施場所 青森県立保健大学（会場参集）  iii 対象者  (1) 発表資格：県内大学関係者、県内保健医療福祉施設職員等、県職員、日本ヒューマンケア科学学会員  (2) 一般参加：可（事前申込制）  iv 実施内容  基調講演、シンポジウム、口述発表、ポスター発表  v 全体テーマ  「すべての人に寄り添う青森のヒューマンケア：安心な地域生活を未来へ」  vi 参加費 無料</p> <p>ヘルスプロモーション戦略研究センターが中心となり、県民のヘルスリテラシーの向上を目指し、自治体や団体等と連携を図りながら、学生参画型の地域活動を推進する。  地域の健康課題を見だし、その解決に資する研究や地域と連携した取り組みを学生教育に生かしていく。  併せて、大学を拠点とした地域住民、地域団体の活動を支援する。</p> <p>※日本ヒューマンケア科学学会学術集会と合同で開催する。また毎年、県内の関係職能団体へ後援を依頼している。  ※開催概要・演題募集要項等は、随時、大学ホームページ上で公表する。</p>
連携している団体	<p>* 名義後援 *</p> <p>公益社団法人青森県看護協会・公益社団法人青森県社会福祉士会・公益社団法人青森県栄養士会・公益社団法人青森県老人福祉協会・一般社団法人青森県介護福祉士会・一般社団法人青森県保育連合会・一般社団法人青森県理学療法士会・青森県精神保健福祉士協会</p>

令和7年度 健康づくりにおける活動（青森県健康増進推進会議）

<p>団体名</p>	<p>公益社団法人青森県医師会</p>
<p>事業名</p>	<p>健やか力推進センター運営事業</p>
<p>事業内容</p>	<p><b>①QOL健診</b>          令和4・5年度の2年に亘り、県委託としてQOL健診県内展開検証事業を実施させていただいたが、昨年度から単独自走事業として運営している。昨年度は71件、延べ5,486人の受診を実施。今年度は約100件、6,000人以上の健診を予定している。また、QOL健診実施後の結果説明者養成を含めたQOL健診従事者養成研修を開催し、従事者の養成ならびに測定技術の習得の場を設け、従事者の増員を目指している。</p> <p><b>②健やか協力隊員養成研修（人材育成研修）</b>          健やか協力隊員養成研修は本会主催で青森市・弘前市・八戸市・五所川原市・むつ市の5ヶ所で開催予定。青森市・弘前市をはじめとし、自治体や職域における人材育成研修が昨年度から規模が拡大されている。          【第1回】6/18(水) 八戸商工会議所          【第2回】7/4(金) 下北文化会館          【第3回】7/29(火) 五所川原市中央公民館          【第4回】8/21(木) かにっくグループスポーツアリーナ          【第5回】10/15(水) 弘前大学健康未来イノベーションセンター</p> <p><b>③親子体操及び親子体操普及員養成研修</b>          青森県における子どもの健康と、働き盛り世代の健やか力（ヘルシテラー）向上を目指し、親子体操の更なる普及に向け、各関係機関と連携を図りながら実施する予定である。また、既に親子体操普及員講座を受講済の人達を対象にフォローアップ研修も開催している。          【親子体操教室・普及員養成講座】11/23(日・祝) 青森県武道館 【フォローアップ研修】9/13(土)・14(日) かにっくグループスポーツアリーナ</p> <p><b>④健やか力推進センター推進協議会</b>          今年度は4/10(木)に開催済である。</p>
<p>連携している団体</p>	<p>健やか力推進センターが主催する研修会講師、QOL健診に係る専門職の派遣等については、健やか力推進センター推進協議会構成団体（あおもり健やかネットワーク）、そのネットワークに参加している特定の団体だけでなく、幅広い分野の団体、専門職に参画していただいている。また、自治体や弘前大学COI、報道機関とも連携を図り、QOL健診の普及・啓発を行っている。</p>

団体名	公益社団法人青森県医師会
事業名	令和7年度青森県糖尿病対策推進会議
事業内容	<p>実施時期：令和7年9月18日（木）          実施場所：青森県医師会館          対象者：糖尿病専門医等          実施内容：          ・世界糖尿病デーイベント等についての協議          ・糖尿病性腎症重症化予防プログラムについて          ・その他</p>
連携している団体	<p>会議役員を下記団体等から推薦いただいている          日本糖尿病学会東北支部、青森県糖尿病協会、青森県歯科医師会、青森県薬剤師会、青森県看護協会、青森県栄養士会、青森県</p>

団体名	青森県医師会
事業名	世界糖尿病デーに対する啓発活動
事業内容	<p>実施時期 令和7年11月9日～11月15日          実施場所 サンロード青森他          対象者 一般市民          実施内容          ・県内各地で世界糖尿病デー関連イベント、講演会等の実施          ブルーライトアップ</p>
連携している団体	<p>青森県糖尿病対策推進会議役員が所属する団体にご協力いただいている</p>

団体名	公益社団法人 青森県医師会
事業名	青森県医師会禁煙推進委員会
事業内容	<p>i 実施時期 12月 禁煙推進委員会開催予定</p> <p>ii 実施場所 青森県医師会館（WEBでのハイブリッド開催）</p> <p>iii 対象者 本会会員等</p> <p>iv 実施内容</p> <p>次年度世界禁煙デー（5/31）に向けた活動の協議</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・禁煙教育・啓発活動について</li> <li>・会報等への記事掲載について</li> <li>・イエローグリーンライトアップ全国キャンペーンへの協賛・協力</li> </ul>
連携している 団体	

令和7年度 健康づくりに関する活動計画（青森県健康増進推進会議）

団体名 一般社団法人 青森県歯科医師会

事業名	フッ化物塗布事業
事業内容	<p>実施時期 令和7年度</p> <p>実施場所 ①県内各地区 ②大間町</p> <p>対象者 ①一般県民 ②大間町にある保育園、幼稚園園児</p> <p>実施内容 ①県内各地で無料フッ素塗布を行う ②無料フッ素塗布を行い、歯科健診データを経年で調査する。</p>
特記事項	

事業名	成人歯科健診充実強化事業
事業内容	<p>① 歯科健診充実強化事業・定着検討委員会</p> <p>実施時期 令和7年度</p> <p>実施場所 青森県歯科医師会館</p> <p>対象者 会員歯科医師</p> <p>実施内容 本事業の企画運営及び歯科保健医療における歯周疾患等の検討</p> <p>② 歯科健診推進・定着事業</p> <p>実施時期 令和7年度</p> <p>実施場所 県内</p> <p>対象者 一般県民</p> <p>実施内容 イベント等での歯科健診の推進</p> <p>③成人歯科健診受診向上のための普及啓発</p> <p>対象者 県内高等学校卒業生</p> <p>実施内容 高等学校卒業生へ継続的な歯科健診受診の為にツールお口の健康手帳を贈呈</p>
特記事項	イベントの実施については情勢を鑑みて検討する。

事業名	在宅歯科医療連携室整備事業
事業内容	<p>①相談・調整業務の実施  実施時期 通年  実施場所 青森県歯科医師会館  対象者 介護関係者  実施内容 郡市歯科医師会単位で定めた担当歯科医師による受診に向けた相談・連絡調整等</p> <p>③ 在宅歯科医療連携室整備事業運営協議会  実施時期 令和7年度  実施場所 青森県歯科医師会館  対象者 会員歯科医師  実施内容 相談・調整業務の事例検討等</p> <p>③在宅歯科診療用機材等の貸出  実施時期 通年  実施場所 県内全域  対象者 在宅歯科医療を行う歯科診療所等  実施内容 ポータブルユニット、ポータブルX線システム、歯科支援車の貸出</p> <p>④ 在宅歯科医療連携室に関する普及啓発  実施時期 令和7年度  実施場所 県内  実施内容 在宅歯科医療連携室に関するリーフレットの作成・配布  オーラルフレイル、連携室の紹介等にかかる啓発動画の配信  在宅歯科医療連携のための医療・介護関係者等を対象とした研修会の開催</p>
特記事項	

令和7年度 健康づくりにおける活動（青森県健康増進推進会議）

団体名	公益社団法人 青森県看護協会
事業名	令和7年度「看護の日・看護週間」事業及び健康教室の実施
事業内容	<p>1 令和7年度「看護の日・看護週間」事業</p> <p>(1) 看護の日イベント  「看護の心をみんなの心に」看護の出張教室  期日：令和7年4月～5月  場所：県内保育施設8ヶ所  対象：保育園児  内容：「看護体験」「かんごの絵本動画鑑賞」</p> <p>(2) 「みんなで話そうー看護の出前授業」  期日：令和7年6月～12月  場所：申し込みの中学校・高等学校  対象：中学生・高校生  内容：①いのちの大切さ、こころとからだの話  ②看護職の仕事  ③看護職への道  ④簡単な看護技術の体験</p> <p>2 未就学児へのからだところの健康教室  期日：令和7年6月～12月  場所：県内保育施設10ヶ所  対象：年長児・参加を希望する保護者  内容：からだとお話の寸劇  保護者・保育士等との意見交換等</p>
連携している団体	特になし

令和7年度 健康づくりにおける活動（青森県健康増進推進会議）

団体名	社団法人 青森県栄養士会
事業名	普及啓発事業
事業内容	<p>実施時期：通年                      実施場所：県内                      対象者：一般県民                      実施内容：                      ・各市町村主催の健康まつりやイベントに参加し、栄養相談コーナー、減塩コーナー、バランス食の展示等を用い、健康日本21(第三次)、第三次青森県健康増進計画の普及推進を無中心とした活動 を無展開。                      ・減塩レシピをホームページへの掲載等により啓発</p>
連携している団体	市町村健康まつり参加他団体
事業名	あおもり栄養ケア・ステーション 無料栄養相談(HP)
事業内容	<p>実施時期：通年(HPは随時)                      実施場所：栄養士会事務所                      対象者：一般県民                      実施内容：                      ・子どもから高齢者まで、肥満、糖尿病などの病態の食事も含め広く食についての相談を行う。</p>
連携している団体	特になし
事業名	あおもり栄養ケア・ステーション 紹介事業
事業内容	<p>実施時期：通年                      実施場所：県内市町村                      対象者：市町村、医療機関、関連団体                      実施内容：                      ・ケア・ステーション登録栄養士を講演会、調理実習等に講師として紹介。                      ・管理栄養士不在の診療所に非常勤の管理栄養士を紹介。</p>
連携している団体	特になし

事業名	栄養学術研究会、生涯教育研修会、あおもり栄養ケア・ステーションスキルアップ研修会、初任者研修会、その他各地区・各職域研修会
事業内容	<p>実施時期：通年          実施場所：県内全域          対象者：管理栄養士、栄養士（一部会員のみ）の研修会あり）          実施内容：          ・研修会を通して、管理栄養士・栄養士が専門性を高め、栄養・食生活等に関する正しい知識、新しい情報等を取り入れ資質の向上を図り人材を育成。</p>
連携している団体	特になし

事業名	通所型介護予防事業（平川市）
事業内容	<p>実施時期：通年          実施場所：平川市          対象者：平川市の二次予防対象者          実施内容：          ・栄養改善や自立した生活の確立と自己実現のための支援。</p>
連携している団体	平川市

事業名	アスリートプログラムサービス栄養指導業務事業
事業内容	<p>実施時期：通年          実施場所：マエダアリーナ          対象者：運動する学生・社会人          実施内容：          ・食事摂取調査を基にした栄養指導。</p>
連携している団体	特になし

事業名	青森市特定保健指導
事業内容	<p>実施時期：通年          実施場所：元気プラザ、ウイング青森、浪岡総合保健福祉センター          対象者：青森市民(国保)          実施内容：          ・「ジムでさっぱりコース」「浪岡でたっぷりコース」における特定保健指導、積極的支援、動機づけ支援。</p>
連携している団体	青森市

事業名	「岩木健康増進プロジェクト健診」等協力
事業内容	<p>実施時期：5～6月          実施場所：弘前市岩木地区          対象者：近隣住民          実施内容：          ・内臓脂肪測定器を使って、内臓脂肪量により健康状況を測定。</p>
連携している団体	弘前市

事業名	栄養ケア活動支援整備事業
事業内容	<p>実施時期：通年          実施場所：県内          対象者：管理栄養士・栄養士          実施内容：          ・地域包括支援システムへ管理栄養士・栄養士が参画し、栄養ケアを充実させるための研修会を開催。</p>
連携している団体	特になし

令和7年度 健康づくりにおける活動（青森県健康増進推進会議）

団体名	(公財) 青森県総合健診センター
事業名	がん検診受診勧奨事業
事業内容	<p>1. 各市町村へ、がん検診受診率向上リーフレットを作成、無償でデータ提供する。</p> <p>2. 各市町村へ、がん検診受診者への説明リーフレットを作成し、無償でデータ提供する。</p> <p>3. 健康まつり等のイベントへ参加しがん検診の必要性を周知する。</p> <p>4. 9月のがん征圧月間にあわせ、がん検診啓発の新聞広告を掲載する。</p> <p>2. は、事業評価 のためのチェックリストに対応しがん検診 受診者 への 説明リーフレットであり、 カラー版 ・ 白黒版に各市町村名を入れて、データ提供している。</p>
連携している団体	

青森県内 がん検診のお問合せ先

受診については、対象となる年齢・実施時期・検査を行う場所・自己負担額等は市町村で異なりますので、詳しくはお住まいの市町村役場へお問い合わせください。

市町村名	担当部署	連絡先
青森市	健康づくり推進課	017-718-2918

市町村名	担当部署	連絡先
平内町	健康増進課	017-718-0019
今別町	町民福祉課	0174-35-3004
蓬田村	健康福祉課	0174-27-2113
外ヶ浜町	福祉課	0174-22-2941

市町村名	担当部署	連絡先
五所川原市	健康推進課	0173-35-2111
つがる市	健康推進課	0173-23-4311
鯉ヶ沢町	福祉課	0173-72-2111
深浦町	健康推進課	0173-82-0288
鶴田町	子ども健康課	0173-22-2111
中泊町	町民課	0173-57-2111

市町村名	担当部署	連絡先
弘前市	健康増進課	0172-37-3750
黒石市	健康推進課	0172-52-2111
平川市	子育て健康課	0172-55-5819
西日屋村	住民課	0172-85-2804
藤崎町	福祉課	0172-88-8197
大鵬町	保健福祉課	0172-55-7149
田舎館村	厚生課	0172-58-2111
板柳町	健康推進課	0172-73-2111

市町村名	担当部署	連絡先
むつ市	健康づくり推進課	0175-22-1111
大間町	健康づくり推進課	0175-31-0350
東通村	健康福祉課	0175-28-5800
風間浦村	村民生活課	0175-35-3111
佐井村	福祉健康課	0175-38-2111

市町村名	担当部署	連絡先
八戸市	健康づくり推進課	0178-38-0710

市町村名	担当部署	連絡先
十和田市	健康増進課	0176-51-6790
三沢市	健康推進課	0176-57-0707
野辺地町	健康づくり課	0175-64-1770
七戸町	保健福祉課	0176-68-4631
六戸町	福祉課	0176-55-3111
横浜町	健康みらい課	0175-73-7733
東北町	保健衛生課	0175-63-2001
六ヶ所村	保健相談センター	0175-72-2794

市町村名	担当部署	連絡先
おいらせ町	健康保険課	0178-56-4551
三戸町	健康推進課	0179-20-1152
五戸町	健康増進課	0178-62-7958
田子町	地域包括支援課	0179-20-7100
南部町	健康こども課	0178-60-7100
陸上町	すこやか健康課	0178-88-2162
新郷村	厚生課	0178-61-7555

がん検診のご案内

がん検診に行きましよう。

日本人が一生のうちに  
がんと診断される確率  
2人に1人。



がんは、早期に見つけることが大切です。  
症状のない元気な時に、  
定期的ながん検診を受けましよう。

※1 国立がん研究センター最新がん統計

公益財団法人青森県総合健診センター

脱・短命県

～みなさまへお伝えしたいこと～

検診の結果は、精度が高く信頼できるものを

お届けしています

青森県総合健診センターでは、弘前大学医学研究科を中心として、それぞれの分野を専門にしている医師と連携し、検査の信頼性の確保に努めています。  
みなさまの健康のために、精度の高い信頼性のある結果をお届けしています。



公益財団法人 青森県総合健診センター  
青森市佃二丁目19-12  
電話 017-741-2336 FAX 017-741-2386

附属あおり人間ドックセンター 電話:017-765-2570 附属あおり健康管理中心 電話:017-773-6011

がん検診の種類

下記は、国が推奨しているがん検診です。

胃

**がん検診** 50歳以上 男女：2年に一度受診※  
※ 当分の間、40歳以上年一回実施可。  
**胃部エックス線検査**  
胃の小さな病変を診断する検査です。バリウムと発泡剤を飲んで、胃の様子をエックス線で撮影し、検査します。



肺

**がん検診** 40歳以上 男女：毎年受診  
**胸部エックス線検査**  
肺全体をエックス線で撮影し、検査します。  
**喀痰検査**  
問診等による該当者には喀痰検査を併用します。3日間痰をとり、がん細胞がまじっていないか顕微鏡で調べます。



大

**腸がん検診** 40歳以上 男女：毎年受診  
**便潜血検査**  
自分でできる簡単な検査で、2日間の便を取って提出します。目に見えない出血の有無を調べます。正しく調べるために、探便棒でまんべんなく、便の表面をこすり取ります。



子

**宮頸がん検診** 20歳以上 女性：2年に一度受診  
**細胞診**  
子宮頸部の細胞を検査用のブラシでこすり取って採取し、顕微鏡で調べる「細胞診」を行います。



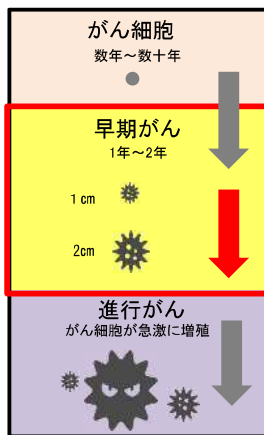
乳

**がん検診** 40歳以上 女性：2年に一度受診  
**乳房エックス線検査**  
乳房を板状のもので挟み、できるだけ平たくして撮影します。触ってもわからない小さなしこり等を見つけることができる検査です。



がんの発生と進行のしくみ

がんは正常細胞からがん細胞に変わった後、時間とともに次第に進行していきます。がんが1cmの大きくなるには、10～20年の時間がかかります。しかし、1cmから2cmになるスピードは早く、僅か1～2年程とされています。がん検診で発見できる早期がんは、1～2cmです。がんは進行がんになるまで、ほとんど自覚症状が現れません。症状が現れてからではなく、早期に見つけるために定期的ながん検診を受けることが必要です。



ここで発見することが非常に大事です！

そのために  
**定期的ながん検診**  
が必要になります



知って得する **がん検診** **胃がん検診（胃部X線検査）**

胃がん検診（胃部エックス線検査）は8,800円※1かかりますが、市町村の実施する検診で受診すると助成金※2が出るため、表記の自己負担で受診できます。

[ A市 に住民票がある方の場合 ] 助成金 -7,300円 で、 <b>1,500円</b> で受診できます。	[ B町 に住民票がある方の場合 ] 助成金 -7,300円 で、 <b>1,500円</b> で受診できます。	[ C村 に住民票がある方の場合 ] 助成金 -8,800円 で、 <b>0円</b> で受診できます。
--	--	--

※1 金額は青森県総合健診センターで受診した場合（税込） ※2 助成については、各市町村によって異なりますので、表記を参考にお問い合わせください。

「要精密検査」という結果であれば、すぐに医療機関で精密検査を受けてください。

# がん検診を受診されるみなさまへ

国が推奨しているがん検診は、科学的に有効性が認められたものです。  
正しく理解し、受診しましょう。

## がん検診のメリットとデメリット

### メリット

- ・最大の利益は、早期のがんを見つけ、早めに治療を行うことで、がんによる死亡率を低下させることです。
- ・がん以外の病気も見つけることができ、治療に結びつけられます。
- ・がん検診の結果、「異常なし」と判定されれば安心して生活することができます。
- ・その他の利益としては、対象となるがんの罹患率の減少、早期発見による生活の質(QOL)の改善、治療する範囲の軽減、医療費が安くすむことなどがあげられます。

### デメリット

- ・がん検診でがんが100%見つかるわけではありません。(偽陰性)
- ・がんがなくても検診の結果「陽性」となる場合もあります。(偽陽性)
- ・結果的に不必要な治療(過剰診断)や検査を招く可能性があります。
- ・検査に伴う偶発症(事故、副作用等)の問題があります。
- ・受診者の精密検査が必要なことにより、不安を感じるなど心理的影響があります。

## 日本のがん統計

がんの死亡数が多い部位

	1位	2位	3位	4位	5位
男性	肺	大腸	胃	膵臓	肝臓
女性	大腸	肺	膵臓	乳房	胃
男女計	肺	大腸	膵臓	胃	肝臓

令和5年(2023年)人口動態統計

がんの罹患数が多い部位

	1位	2位	3位	4位	5位
男性	前立腺	大腸	肺	胃	肝臓
女性	乳房	大腸	肺	胃	子宮
男女計	大腸	肺	胃	乳房	前立腺

全国がん罹患データ(2020年)

下記のがん検診は、死亡率減少効果があることが認められています。

定期的な検診を心がけ、確実に受診しましょう

胃がん検診	毎年受診 2年に一回	胃部エックス線検査*1 胃部内視鏡検査	胃がんはがん死亡の上位に位置しており、定期的な検診が重要です。
大腸がん検診	毎年受診	便潜血検査(2日法)	大腸がんは日本人に増えており、がん死亡の上位に位置していますので、定期的な検診が重要です。
肺がん検診	毎年受診	胸部エックス線検査 及び喀痰細胞診*2	肺がんはがん死亡の上位に位置しています。喫煙との関連が強く、肺がんになった人のうち、男性68%、女性18%は喫煙が原因で肺がんになったと考えられています。禁煙とたばこの煙を避けることが有効です。
乳がん検診	2年に一回	乳房エックス線検査 (マンモグラフィ)	乳がんは近年、女性におけるがん死亡の上位となっており、日ごろから自分の乳房の状態に関心を持って生活するプレスト・アウェアネスが重要です。定期的な検診も心がけましょう。
子宮頸がん検診	2年に一回	子宮頸部の細胞診	子宮頸がんの罹患は比較的多く、近年増えています。検査結果は「異常なし(精密検査不要)」、「要精密検査」等の区分で報告されます。

\*1 当分の間、年一回受診しても差し支えない

\*2 50歳以上で喫煙指数(1日の喫煙本数×喫煙年数)が600以上の方が対象

**症状がある場合は必ず医療機関を受診し、医師に診てもらいましょう。**

今回の検診の結果が「**要精密検査**」となった場合は、**必ず医療機関で精密検査を受けましょう。**

## 精密検査の方法

### ○ 胃の精密検査

胃内視鏡検査を行います。必要に応じて、細胞組織をとり、がんかどうかを調べる生検を行います。

胃内視鏡検査：胃の中を内視鏡で直接観察する検査です。麻酔や胃の動きを抑える注射をして、内視鏡を口や鼻から挿入します。

### ○ 大腸の精密検査

第一選択は全大腸内視鏡検査です。全大腸内視鏡検査が困難な場合は、S状結腸内視鏡検査と注腸エックス線検査の併用で行うことがあります。

※検診と同じ検査は、精密検査となりません。(便潜血検査の再検は不適切です)

全大腸内視鏡検査：大腸すべてを内視鏡で観察する方法です。事前に下剤を服用し、肛門から内視鏡を挿入し検査します。

注腸エックス線検査：事前に下剤を服用し、肛門からチューブを挿入してバリウムと空気を注入し、大腸のエックス線写真を撮影します。

### ○ 肺の精密検査

胸部CT検査や気管支鏡検査で行います。

※検診と同じ検査は、精密検査となりません。(喀痰検査で要精密検査となった場合、喀痰細胞診の再検は不適切です)

胸部CT検査：CTスキャナーと呼ばれる検査装置の寝台に横になり、胸部のエックス線写真を撮影します。

気管支鏡検査：気管支鏡を口から気管支に挿入して、直接観察します。必要に応じて細胞を採る検査をすることがあります。

### ○ 乳房の精密検査

マンモグラフィの追加撮影、乳房超音波検査、MRI、CT、穿刺吸引細胞診や針生検等を行います。

マンモグラフィ：詳しく観察するため、多方向からエックス線撮影をします。

乳房超音波検査：超音波により詳しく観察します。

乳房MRI検査：寝台に横になり、強力な磁石でできた筒の中で、磁気の利用して撮影する検査です。

穿刺吸引細胞診、針生検：しこりなど疑わしい病変が見つかった場合、細い注射針を刺して中の細胞や組織を採取して調べます。

### ○ 子宮の精密検査

コルポスコープ下の組織診や細胞診、HPV検査などを組み合わせたものを実施します。

コルポスコープ：子宮頸部の粘膜表面を拡大し、細かい部分を観察できる医療器械です。観察と同時に粘膜の組織を採取して検査します。

組織診：疑わしい部分から組織を採り、標本をつかって顕微鏡で診断します。

精密検査結果は、市町村へ報告します。また、医療機関で受診した精密検査結果は検診機関と市町村で共有いたします。

※精密検査結果は、個人の同意がなくても、市町村や検診機関に対して提供できる個人情報保護法の例外事項として認められています。

令和7年度 健康づくりにおける活動（青森県健康増進推進会議）

団体名	青森県保険者協議会
事業名	別紙参照
事業内容	別紙参照
連携している 団体	健康保険組合連合会青森連合会、青森みちのく銀行健康保険組合、日本原燃健康保険組合、全国健康保険協会青森支部、青森県市町村職員共済組合、警察共済組合青森県支部、地方職員共済組合青森県支部、公立学校共済組合青森支部、青森県後期高齢者医療広域連合、県内市町村、青森県医師国民健康保険組合、青森県医師会、青森県歯科医師会、青森県薬剤師会、青森県看護協会、青森県健康医療福祉部（がん・生活習慣病対策課、医療薬務課、高齢福祉保険課）

## 令和7年度健康づくりに関する活動計画

### 1. 青森県医療費適正化計画策定等への対応

青森県医療費適正化計画の実施について県へ協力する。

### 2. 研修の実施 ～ 特定健診・特定保健指導に関する研修

#### (1) 目的

データヘルスの中心である特定健診・特定保健指導は、生活習慣に起因する糖尿病等の発症・重症化の予防により、健康づくりを進め医療費を適正化するため、医療保険者が共通に取り組む保健事業である。

未受診者対策を進めるとともに、生活習慣病予防のために行動変容に繋げる保健指導技術の向上と生活習慣病対策全体を効果的に推進できる人材を育成することを目的とする。

(2) 主催 青森県保険者協議会

(3) 開催時期 令和7年9月3日（水）

(4) 開催場所 ウェディングプラザアラスカ 4階ダイヤモンド（青森市）

#### (5) 研修対象者

県・市町村・医療保険者・医療機関等に所属する医師、保健師、管理栄養士、在宅保健師・健康管理担当者等の特定健診・特定保健指導実践者、一定の保健指導の実務経験のある看護師

#### (6) 研修内容

##### ①行政説明 「高血圧症のキャンペーンについて」

説明者 青森県健康医療福祉部がん・生活習慣病対策課

総括主幹（健やか力推進グループマネージャー） 池田 安克

##### ②講演・演習「特定保健指導のスキルアップ

～実施効果と実施率の向上を目指して～

講師 帝京大学大学院公衆衛生学研究科 教授・研究科長 福田 吉治 氏

### 3. 特定健診等実施率向上に向けた取組

各医療保険者の特定健診等実施率向上のため、特に被用者保険の被扶養者が受診しやすいように次の取組を進める。

- (1) 市町村国保の協力のもとに被用者保険の被扶養者の特定健診の機会が確保されるよう、各医療保険者の特定健診・がん検診実施予定等の情報共有を図る。
- (2) 被用者保険の被扶養者の特定健診受診の環境づくりを検討する。
- (3) 広報（国保連合会広報事業を活用）  
特定健診及び後期高齢者健診並びにがん検診を一体的に推進するため、令和4年度に国保連合会が作成した受診勧奨PRポスターに保険者協議会の名入れも併せて行い、今年度も引き続き国保連合会のホームページに掲載する。

### 4. 医療費等の調査・検討

- (1) 医療費適正化計画に資する医療費分析を実施する。
- (2) 各医療保険者の特定健康診査等データを取りまとめ、集計結果を還元する。

### 5. バイオ後続品を含めた後発医薬品の使用促進への対応

- (1) 関連する研修会等の情報提供を行う。
- (2) 必要に応じ、関連機関・団体との連絡調整を行う。

令和7年度 健康づくりにおける活動（青森県健康増進推進会議）

団体名	青森県食生活改善推進員連絡協議会
事業名	かんたん野菜レシピ普及事業(県委託事業)
事業内容	<p>I 実施時期 R7年7月～R8年1月末日まで(38回程度)</p> <p>II 実施場所 8保健所管内協議会(各4～5回)</p> <p>III 対象者 一般県民(特に若い世代、働き盛り世代)</p> <p>IV 実施内容</p> <p>県民、特に成人(若い世代)の野菜摂取量の増加を図るため、当会が県内各地で実施する各教室・自主活動において、簡単にできる試食の提供とレシピの配布・普及を図る。</p>
連携している団体	<p>①令和7年度日本食生活協会からの委託事業のうち、若い世代の参加が見込まれる料理講習会で実施する。(親子の食育、ヘルスサポーター養成事業)</p> <p>②若い世代の参加が見込まれる他機関・団体に依頼し、事業実施する。</p> <p>③高齢者対象の事業は、対象外とする。</p>

団体名	青森県食生活改善推進員連絡協議会
事業名	乳幼児健診でのだし活減塩活動(県委託事業)
事業内容	<p>I 実施時期 R7年4月～R8年1月</p> <p>II 実施場所 全市町村 300回予定(乳幼児健診) 40市町村×8～10回想定</p> <p>III 対象者 健診に同行した保護者・参加者</p> <p>IV 実施内容</p> <p>離乳食の時から薄味になれてもらうために、だしを活用することで、美味しく減塩することができることを理解してもらい、味覚が形成される前の乳幼児の保護者等を対象に「だし活」を伝道する。地産地消を推進する。減塩対策の推進を図る。</p> <p>令和7年度は、試食提供はしない。「できるだし」の試供品、「だし活」PRパンフレット(おいしいだしがとれる県産食材を紹介)の配布と試飲(こんぶだし)、アンケート調査を行う。</p>
連携している団体	県内各市町村行政と相談のうえ、協力して実施。

令和7年度 健康づくりにおける活動（青森県健康増進推進会議）

団体名	NPO法人 日本健康運動指導士会青森県支部
事業名	支部研修会
事業内容	<p>実施時期：令和8年3月（予定）                  実施場所：青森市（予定）                  対象者：健康運動指導士，健康運動実践指導者                  実施内容：                  ○基調講演：調整中                  ○実技指導：調整中</p>
連携している 団体	NPO法人 日本健康運動指導士会

令和7年度 健康づくりにおける活動（青森県健康増進推進会議）

団体名	公益財団法人青森県老人クラブ連合会
事業名	令和7年度青森県老連健康福祉大学校
事業内容	<p>下記3会場（1会場9回）</p> <p>&lt;三沢市&gt;            i 実施時期 令和7年6月20日（金）～同年11月21日（金）            ii 実施場所 三沢市総合社会福祉センター 他            iii 対象者 開催市町村及び近隣の市町村の高齢者</p> <p>&lt;東北町&gt;            i 実施時期 令和7年7月25日（金）～同年12月19日（金）            ii 実施場所 東北町保健福祉センター 他            iii 対象者 開催市町村及び近隣の市町村の高齢者</p> <p>&lt;鶴田町&gt;            i 実施時期 令和7年12月16日（火）～令和8年3月2日（月）            ii 実施場所 鶴田町保健福祉センター 他            iii 対象者 開催市町村及び近隣の市町村の高齢者</p> <p>&lt;実施内容&gt;            国及び県の補助金を活用して、開催地及び近隣の市町村の高齢者を対象に、健康づくりを中心に地域活動を推進する総合的なリーダーを養成する。（受講生1会場30名程度）            要綱及び講座内容は添付資料参照。</p>
連携している団体	<p>【共催】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催地市町村老人クラブ連合会</li> </ul> <p>【講師派遣】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催地市町村社会福祉協議会・開催地自治体・開催地市町村包括支援センター・県立中央病院・県薬剤師会・県歯科衛生士会、レクリエーション協会・健康運動指導士など</li> </ul>

# 令和7年度青森県老連健康福祉大学校開校要綱（三沢会場）

## 1. 趣 旨

老人クラブ活動等のより一層の活性化を図るとともに高齢者の健康づくり等を推進する。明るい長寿社会の実現と保健福祉の向上に資するため、健康づくりをはじめとした地域活動を推進する総合的なリーダーを養成する。

## 2. 主催・共催

公益財団法人 青森県老人クラブ連合会 三沢市老人クラブ連合会

## 3. 事業実施期間

令和7年6月20日（金）入学式～令和7年11月21日（金）卒業式

## 4. 実施場所

主会場 三沢市総合社会福祉センター 他  
〒033-0011 青森県三沢市幸町3-11-5  
TEL 0176-51-8770

## 5. 募集人数及び参加資格

(1) 募集人数 30名

(2) 参加資格

- ①概ね60歳以上の方(60歳未満でも可)
- ②老人クラブ会員
- ③老人クラブ会員以外の方の参加可能
- ④開講期間を通じて通学できる方

## 6. 講義内容

別紙「講座内容」参照

## 7. 履修単位

31単位（1単位50分）

## 8. 修了証（卒業証書）

- (1) 所定の単位（総単位の8割以上）を取得した者に修了証（卒業証書）を授与する。
- (2) 所定の単位に満たない者には受講証を授与する。
- (3) 無欠席ですべての単位を取得した者には皆勤賞を授与する。

## 9. 費 用

- (1) 資料代・材料代等は、老人クラブ会員は3,000円、それ以外の方は4,000円とする。
- (2) その他教材費等が発生した場合は、必要に応じて徴収する。
- (3) 交通費、食費等の経費は、自己負担とする。

## 10. 入学の申し込み方法・期日

### (1) 申込方法

学生募集チラシ（裏面）又は、はがき、FAXにて住所、氏名、性別、年齢、電話番号、老人クラブ会員の有無をご記入の上、県老連健康福祉大学校事務局に申し込むものとする。

### (2) 申込期日

令和7年5月30日（金）午前12時まで（郵送の場合は必着）

## 11. 入学決定

(1) 申込多数の場合は、抽選とさせていただきます。

(2) 受講決定については、決定者の方のみに文書にてお知らせいたします。

## 12. 運 営

(1) 本老連健康福祉大学校の学長は、県老人クラブ連合会会長が当たるものとする。

(2) 学生の自主的な運営参加を推進するため、学生委員会を設置する。

(3) 本老連健康福祉大学校の事務局は、青森県老人クラブ連合会及び三沢市老人クラブ連合会の事務局に置く。

○青森県老人クラブ連合会

〒030-0822

青森市中央3丁目20番30号

県民福祉プラザ内

TEL017-732-6492

FAX017-732-6493

○三沢市老人クラブ連合会

〒033-0011

三沢市幸町3-11-5

三沢市総合社会福祉センター内

TEL/FAX 0176-53-9155

## 令和7年度青森県老連健康福祉大学校講座内容（案）

### 三沢会場

回	月	日	時 限	講 座 内 容 等	講 師 等	会 場
1	6	20日 (金)	11:00~11:30	入学式	事務局	三沢市総合社会福祉センター  (2単位)
			11:40~12:00	オリエンテーション	〃	
			12:00~13:00	昼食・休憩		
			13:00~14:50	講義・実技 「笑いながら健康運動」	青森県立中央病院 健康推進室 健康運動指導士 西村 司 氏 〃 境 沙織 氏	
			14:50~15:10	ホームルーム	事務局	
2	7	10日 (木)	10:00~10:10	朝の会	〃	三沢市総合社会福祉センター  (4単位)
			10:10~12:00	講義・実技 「レクリエーション活動①」	青森市レクリエーション協会 会長 塩谷 彰宏 氏	
			12:00~13:00	昼食・休憩		
			13:00~14:50	講義・実技 「レクリエーション活動②」	青森市レクリエーション協会 会長 塩谷 彰宏 氏	
			14:50~15:10	ホームルーム	事務局	
3	7	23日 (水)	10:00~10:10	朝の会	〃	三沢市総合社会福祉センター  (4単位)
			10:10~12:00	講義「お薬と賢く付き合ひましょう」	(一社)日本介護支援専門員協会 名誉会長 木村 隆次 氏	
			12:00~13:00	昼食・休憩		
			13:00~14:50	ニューススポーツ講習「モルック」	東北町社会福祉協議会 向井 光貴 氏 おいらせ町社会福祉協議会 中野 一平 氏	
			14:50~15:10	ホームルーム	事務局	
4	8	7日 (木)	10:00~10:10	朝の会	学生委員会	三沢市総合社会福祉センター  (4単位)
			10:10~11:00	自己紹介	事務局	
			11:10~12:00	講義 「これからの老人クラブを みんなで考えよう」	青森県老人クラブ連合会事務局	
			12:00~13:00	昼食・休憩		
			13:00~14:50	「シニアボウリングを楽しもう！」	東北町社会福祉協議会 向井 光貴 氏	
			14:50~15:10	ホームルーム	学生委員会	
5	9	17日 (水)	8:40発	三沢市総合社会福祉センター		津軽こけし館道の駅なかだて「弥生の里」  (4単位)
			10:30~12:00	体験学習「こけし絵付け体験」		
			12:00~13:00	昼食・休憩		
			13:20~14:10	見学「田んぼアート」		
			16:00着	ホームルーム		
6	10	8日 (水)	10:00~10:10	朝の会	学生委員会	三沢市総合社会福祉センター  (4単位)
			10:10~12:00	オーラルフレイルについて (仮)	青森県歯科衛生士会 歯科衛生士 天間 財子 氏	
			12:00~13:00	昼食・休憩		
			13:00~14:50	交流会		
			14:50~15:10	ホームルーム	学生委員会	

回	月	日	時 限	講 座 内 容 等	講 師 等	会 場
7	10	17日 (金)	10:00~10:10	朝の会	学生委員会	市民の森 ゲートボール場  (4単位)
			10:10~12:00	ボッチャ	健康運動指導士 棟方 由美子 氏	
			12:00~13:00	昼食・休憩		
			13:00~14:50	ノルディック・ウォーキング	青森県立中央病院 健康推進室 健康運動指導士 西村 司 氏 〃 境 沙織 氏	
			14:50~15:10	ホームルーム	学生委員会	
8	11	4日 (火)	10:00~10:10	朝の会	〃	三沢市総合社会福祉 センター  (4単位)
			10:10~11:00	講義 「身も心も軽くする片づけ」(仮)	はっぴらいふケアおいらせ 代表 長沖 みのり 氏	
			11:10~12:00	講義 「高齢者の脱水と熱中症について」	株式会社大塚製薬工場 OS-1事業部 営業部 NR・サプリメントアドバイザー 佐藤 文範 氏	
			12:00~13:00	昼食・休憩		
			13:00~14:50	講義 「笑って伸ばそう健康寿命 ～笑いヨガで身体も心もごきげんに～」	青森笑いヨガ研究所 代表 津島 弘美 氏	
			14:50~15:10	ホームルーム	学生委員会	
9	11	21日 (金)	10:00~10:10	朝の会	〃	きざん三沢  (1単位)
			10:10~10:40	老人クラブリーダーとして期待する	学長	
			11:00~12:00	卒業式	事務局	
			12:00~14:00	卒業記念パーティー	学生委員会	

1講座50分(1単位)

総単位数 31単位

令和7年度 健康づくりにおける活動（青森県健康増進推進協議会）

団体名	青森県保健協力員会等連絡協議会
事業名	別添参照
事業内容	〃
連携している 団体	〃

## 令和7年度の健康づくりに関する活動計画

### 1. 事業内容について

#### (1) 保健協力員研修会の開催

##### ①目 的

地域住民の健康の保持・増進を図るために活動している各市町村保健協力員が一堂に会し、健康づくりリーダーとして必要な知識の習得と相互研鑽の機会とし、もって、本県の平均寿命・健康寿命の延伸に寄与する。

##### ②共 催 青森県・青森県保健協力員会等連絡協議会・ 青森県国民健康保険団体連合会

##### ③開催時期 令和7年5月16日(金)

##### ④開催場所 リンクモア平安閣市民ホール(青森市民ホール)

##### ⑤参 集 者

市町村関係者(保健協力員、国保・保健関係職員、保健師)、職域関係者、県関係者(健康医療福祉部各課・各保健所職員)、保険者協議会関係者、青森県在宅保健師の会会員

##### ⑥研修内容

###### ア. 活動発表

座 長：国立大学法人弘前大学特別顧問・

大学院医学研究科社会医学講座特任教授・

青森県総合健診センター理事長・

青森県医師会健やか力推進センター長 中路 重之 氏

「健診受けましたか？」～受診勧奨を頑張る私たち～

活動発表者：五戸町保健協力員会会長 三浦 浩子

「QOL健診を受けてみませんか」 中路 重之 氏

###### イ. 講 演

「耳の聴こえと認知症のつながりについて」

講 師：国立大学法人弘前大学医学部附属病院

耳鼻咽喉科頭頸部外科講師 後藤 真一 氏

#### (2) 保健協力員等に対する実態調査の実施・集計

##### ①目 的

令和元年度以降の新型コロナウイルス感染症の感染拡大等による社会の変化から保健協力員の活動が制限されるようになり、保健協力員からはモチベーションの低下や活動の意義に疑問を感じるといった声が聞かれるようになった。

また、高齢化や成り手不足等の課題も多く保健協力員数が減少していること等から、県立保健大学の協力を得ながら地域での活動の実態把握や市町村における保健協力員の活用・育成に関する考え方等を調査し、保健協力員の活動の活性化につなげる。

- ②実施時期 令和7年4月～7月
- ③調査対象 各市町村保健協力員、各市町村保健協力員担当者
- ④調査内容

保健協力員の活動の実態把握、市町村の保健協力員の活用や育成に関する考え方、今後の活用方法

(3) 保健協力員等に対する実態調査の意見交換会・検討会の開催

前項の調査結果を受けて、保健協力員（本協議会役員）による意見交換会や各市町村保健協力員担当者が今後の保健協力員のあり方を考える検討会を開催する。

(4) 模範的活動の紹介・普及

(5) 意見交換

○県統一活動目標とスローガン

①活動目標：健（検）診受診率アップ

スローガン：「あなたの声かけで 新たに健（検）診受診者を 3人増やそう！」

②活動目標：組織強化を図り、保健協力員等の活動を活性化させる。

スローガン：「仲間を増やして 健やか力をアップしよう！」

2. 他機関・団体との連携状況について

○保健協力員研修会の開催

例年県、国保連合会、当協議会との共催により研修会を開催し、活動発表の座長を弘前大学 中路先生にご協力いただき、各市町村保健協力員、関係機関・団体等の知識の習得と相互研鑽の機会としている。